

平成24年5月(2012年)No.557

彩の国埼玉全国映像コンテスト中止に思う

会長 合原一夫

このほど彩の国埼玉全国コン中止の通知が事務局からありました。ビクター系の国際コンが無くなった後だけに、何か淋しいものがあります。残された全国コンでビッグなものは、丹波篠山コン、飛騨高山コン※及び東京アマチュア映像祭コン位のものでしょうか。地方レベルのあまり名の知られていないコンテストは多くあるようですが、目的やテーマが観光等に絞られたものが多く、魅力あるコンテストは少ないように思います。

思えば8ミリ映画全盛時代には、広島国際コン、キャノンコン、ニココン、フジフィルムコン、エルモコン、それに玄光社が隔年に行っていた東京国際コンと全日本コンは、アマチュア映像人間にとっては夢の存在であり、一つの目標でもありました。テレビ局も東海テレビが全日本コンテストをやっていて、自信作が出来上がると、さあ、どのコンテストに応募しようかと迷ったものでした。そして発表会も大がかりで大阪でも淀屋橋の朝日生命ホールがその会場で、いつも満員盛況だったことを覚えています。当時観客は勤める人が多かったので、開催日は金曜日の夜がほとんどでした。コンテストに出す、という一つの目標は確かに作品の質の向上をもたらします。そのためには脚本段階からよく練り上げ、高価なフィルムを無駄にしないよう撮影にも気を配ったものです。編集、録音はまさに手づくりの世界、趣味の醍醐味でもありました。画面と音がぴったり合ったときの感激は格別でした。

今は画面と音がぴったし合って当り前の時代、作品を拝見していますとせっかくの現場音が充分活かされなくてBGMに頼り過ぎている作品が多過ぎる様に思えてなりません。もっと現場音を大切にしませんか。

また作品の質を高める為に、一つの目標としてコンテストなり発表会を目指し、これぞ我がグランプリ作品、と云えるものを作りたいたいものですね。

5月例会のお知らせ

5月例会は第4土曜日26日午後6時より、いつものJR難波駅上4階難波市民学習センターにて開催します。気候もよく作品制作の方も皆さん進んでいることでしょう。どしどし持参して見せて下さい。楽しい例会にどうぞ。

※本年度から応募資格が25歳以下の一般・学生に限られました。

7月1日 日本縦断発表会

当クラブから4氏が全国初デビュー

日本アマチュア映像作家連盟主催の第30回日本を縦断する映像発表会は、来る7月1日(日曜日)12時より大阪市立中央図書館にて開催されます。本映写会は全国の主たるアマチュア映像作家の作品発表の場として、東京、名古屋、大阪、広島そして福岡の5会場で発表会が催されているので、全国コン入賞作品などレベルの高い作品が見られることで評価されている催しです。今回は先ほど亡くなられた当クラブの会員だった玉井 勻さんの「近江八幡左義長祭り考」、岡本至弘さんの「伝統を受け継ぐ菅細工」、進藤信男さんの「(わ)は力なり」そして山口幸代さんの「58654」の以上4氏の作品が上映されます。4氏とも初めて全国デビューされるもので、去る4月4日東京発表会で大いに好評を博しました。これを励みに更に良い作品づくりを目ざして頑張ってください。

4月例会のレポート

28日(土)午後6時より難波市民学習センターにて行いました。桜前線も北上し、すっかり新緑の季節を迎え、この日の日中の気温は30度近くまで上がり、汗ばむ陽気となりました。そんな中、24名の出席者で17本の作品がでしたが上映時間が足りず、合原会長の作品と、先月ご逝去された玉井会員の遺作が特別出品されましたが来月廻しになりました。

今月の司会は進藤氏、上映担当は江村、井上、河合の3氏、書記は岡本氏、受付兼照明係は紙本、宮井の両氏で進行しました。

■出席者：有村、井上、上田、江村、岡本、上総、蟹江、紙本、河合、黒田、合原、進藤、関、高瀬、鉄具、華岡、前田、宮井、宮崎、森口、森下、山本、吉岡、渡辺の24名の出席と15本の上映でした。

■上映作品(今月の講評は岡本世話役です)

1. 2010よさこい(HDV)

江村一郎さん 6分40秒
よさこいと言えば江村作品、すでに40

作を越えると作者。ライフワークというより宝物でしょう。どの作品をみても飽きさせないのが作者の腕前でしょうか。よさこいの連が踊りながらストリートを通過するだけのものですが、これだけの作品を重ねれば撮影のコツ、ポイント、そして編集の壺が脳裏にインプットされているからでしょう。この作品は、撮影位置は同じで編集もストレートにまとめた作者。それでも楽しませていただきましたが、前作の講評にもありましたように現場音の処理が少し手をくわえられるとリズム感のある作品になると思います。

2. 中山道ぶらり旅 碓氷峠の道(HDV)

紙本 勝さん 14分30秒

碓氷峠(うすいとうげ)は、群馬県安中市松井田町と長野県北佐久郡軽井沢町との境にある関東の峠である。作者はこの峠を軽井沢側から坂本宿への登山ルートを歩かれた。朝8時に出発して6時間かけて11キロをご自身もカメラにおさまりながらの撮影行だ。急な坂道、瓦礫の続く道、化成岩が冷却し柱状に割れた岩石が露出している。「馬頭観世音」「大日尊」等の石碑がある。途中には「熊出没」の看板があり熊よけに携帯ラジオを鳴らしながら歩く。ラジオの音声も画面にはいっていません。茶屋の跡など、いにしへの繁栄の面影を忍ばせている。山中にはなぜか廃車が捨てられている。難所の続くこの峠をよく越えられました。地図をいれられたらよかったとの意見がありました。それにしても凄いとの声がありました。続編もあるそうです。楽しみにしています。

3. 春を歌おう(BD)

有村 博さん 2分45秒

パソコンで曲にあわせて実験的につくってみましたと作者。「春を歌おう」の曲と歌に画像をあわせてつくられました。画面は春の花ばかりを全編アップとロングで合成されています。あまりカットを切らない方がよい、四分割の画面をいれてみたらとの意見がありました。それにしても綺麗な映像でした。

4. 奥能登・冬の風物詩/後編(HDV)

河合源七郎さん 11分50秒

冬の厳しい日本海の荒波をまともにうける曾々木海岸。その曾々木と珠洲市の境目にある高さ15メートルの断崖から直接海に落ちる「垂水の滝」から映像が始まります。日本海から吹き付ける強風のため水が舞い上がっています。そんな厳寒の中で禪姿の若衆が水ごりをとり海にはいる「寒中禊」という神事がはじまりました。そして男たちは禊をすませた「お守り」くぼりはじめました。さすがに寒そうです。観客も首をすくめて見守っています。そして輪島の伝統のある勇壮な御陣乗太鼓がはじまりました。通常は夏祭りの出番ですが、若者たちの「寒中禊」にこたえて友情応援の出演だそうです。このシーンは観客の様子がないのでまわりの状況がわかりませんでした。が勇壮な御陣乗太鼓が拝見できました。

5. 絵姿女房(BD)

上田吉巳さん 8分30秒

この作品は、1975年にフジフィルムの撮影会で作られたフィルム作品をテレシネされたものです。日本昔話「絵姿女房」のストーリーをもとに男女のからみを創作されました。筋書きは省きますが、こんな撮影会も楽しいものですね。三十数年前の映像づくりがよみがえりました。この頃も楽しかったですね。それ以来映像の歴史も随分進歩したのもですね。

6. 世界遺産・麗江古城(BD)

井上勝彦さん 7分46秒

麗江古城(れいこうこじょう)は中華人民共和国雲南省北部に位置し、万年雪を抱いた玉龍雪山の麓に広がる納西(ナシ)族の街、玉龍雪山の伏流水を利用した水路や町並みが美しい。町並みには所狭しと軒を連ねて家が立ち並んでいる。もともと雲南とチベットを結ぶ公益路の要衝拠点として発展してきたという。建物も商店としての機能を持ったものが多く、ほとんどが二階建の家が並ぶ。1997年に世界遺産に登録され、納西族が創り出した優れた文化をもつ町並みを拝見させていただきました。

いつもの奥様のナレーションをいれていただければもっと良かったと思いました。

7. 星祭節分会(BD)

吉岡貞夫さん 14分50秒

兵庫県宝塚市にある聖徳太子の創建によると伝えられているわが国最初の観音霊場である中山寺は、女性の大役である出産の安泰を祈る霊跡として、古来より深く信仰されてきましたとの解説が流れます。そして毎年2月に行われる節分祭がはじまりました。宝塚歌劇団の生徒による歌が奉納されたあと、彼女たちが扮する観音様が三毒の象徴・三匹の鬼をさとし、福・禄・寿に変身させるというショーが行われます。このあとは境内ぎっしりつまった参拝者に豆まき式(ついな式という)が行われました。被写体が綺麗なので楽しく拝見いたしました。

8. ドロミテ街道(BD)

華岡 汪さん 10分45秒

ドロミテ街道は、北イタリアに位置するドロミテ山塊(ドロミテ・アルプス)、優美なスイスアルプスと違い、荒々しい岩肌が剥き出しの山並みで雄々しい魅力に富んだ景勝地が続く観光ルート探訪です。道中の最高所であるサツソ・ボルドイ(ボルドイ峠)やカレッツァ湖などの風光明媚な景色を堪能させていただきました。

ツアー旅行だと思いますが、作者ご自身が写った映像がほしかったですね。

9. 中欧の旅・スロバキア編(BD)

蟹江利一さん 9分00秒

昨年9月に行かれた中欧ヨーロッパへのツアー旅行です。先月のブタベスト編につづいて今月はブタベストの北スロバキア編です。スロバキアは、チェコスロバキアから1993年に共和制国家として独立したまだ新しい国です。首都はプラチスラヴァです。そのプラチスラヴァ市の市街地を主に撮影されています。ハミエル門からプラチスラヴァ城やドナウ川が写ります。街中では大道芸など、歩く人々ののんびりした風景を楽しんでいました。次はオーストリア編だそうです。楽しみにしています。

10. 遠き日のOMC(BD)

宮井 健さん 3分33秒

作者の言う遠い日とは、おそらく198

0年代でしょう。当時は小型映画の全盛時代でした。時の会長は川畑さん、副会長が小倉さんで、例会場は上六の教育会館でした。その面影をしので尋ねられました。その教育会館は建て替えられて新しいビルに生まれ変わっています。駅周辺には新歌舞伎座ができて様変わりしました。当時の会員さんも忍ばれ、なかでも有村さん、合原さん、前田さんが現役でご活躍されていることに深い称賛の言葉が述べられています。筆者もこの頃入会させていただいたことを記憶していますが、当時の思いでがよみがえりました。なつかしいものですね。

11. オシドリ in 大阪(BD)

新藤信男さん 11分36秒

大阪にもオシドリがいないか、探し求めて2007年1月に交野市、白旗池にいました。50羽ほど戯れていました。それから5年、2012年2月に再び訪れてみるとオシドリが1羽もいません。枚方市の山田池にいるという情報を聞いて行ってみるとカモしかいません。もう一度、白幡池へ行ってみてもいません。どうしたのだろうと再び山田池へ。いました200羽ほどが池の隅で群れをなしているのを発見。警戒心の強いオシドリですが、頬から首にかけての橙赤色がとてもうつくしい。大阪にもいたんですね。

12. こじき祭り(HDV)

森口吉正さん 10分45秒

岐阜県加茂郡川辺町の県(あがた)神社で毎年4月1日に行われる「桶がわ祭り」は通称「こじき祭り」とよばれる祭りです。

江戸時代この辺りが飢饉に見舞われたとき、住み着いた乞食に、農民が食べ物を恵んだところ、豊作になったと言われ、乞食は神様の使いだったと伝えられるようになったそうです。その伝えにより、この時期に豊作を願って、盛大に祭りが行われるようになったとか。クライマックスには氏子たちが、桶にいれられた赤飯を乞食の前に敷かれたビニールシートの上にひっくりかえして参拝客が奪い合うシーンが映ります。この赤飯を食べると御利益があると一粒残らずなくなります。祭りの乞食の役は

その年の厄年の人がつとめられるそうです。鐘や太鼓の音もなく、なんともユニークなお祭りでした。

13. 交野フィル定期演奏会(BD)

鉄具嘉夫さん 11分00秒

昨年9月11日に行われた、第13回定期演奏会の模様を主催者から依頼されて記録されたものです。音も特別に録音されたよううまくまとめられています。この手の録画は音を切ることができないので苦労されますね。カメラが1台ではしんどいので、せめて2カメがいますね。でもよくまとまっていました。

14. ペルリンの壁(BD)

山本正夢さん 6分10秒

作者には、いつも海外編で楽しませていただきます。今回のペルリンの壁は、冷戦の真っ只中にあった1961年8月13日に東ドイツ政府によって建設され、東ベルリンと西ベルリンを隔てる壁である。そして1989年11月10日に破壊され、1990年10月3日に東西ドイツが統一された街を取材されました。壁の西側では壁の建設をなじり撤去を求める落書きが出現するようになり、やがてさまざまな色鮮やかなストリートアートの壁が印象的でした。

15. 美ヶ原王ヶ頭(HDV)

高瀬辰雄さん 12分10秒

松本市街からおよそ1時間半かけて、吹雪の中、標高2034メートルの最高峰にある、「雲上の一軒家」王ヶ頭ホテルに送迎車で向かう。道は舗装されておらず頂上は霧のベールに包まれ、周囲の景色はまったく見えない。時折陽がさして墨絵のような山肌が現れるが瞬く間に雪に覆われてしまう。ホテルに到着。

翌朝は快晴、朝焼けが美しいが風がきつい。八ヶ岳連峰に陽が昇る、朝焼けにそまる富士山。南アルプス連峰がみえる。北アルプス連峰、中央アルプス、360度の眺望。王ヶ頭からは、日本百名山のうち41名山が見える。そして雪上車で下山。美しい山岳映像を拝見しました。